大阪都市計画　都市高速鉄道
第4号線の変更に関する説明会

日時:令和6年2月20日(火)19:00～

場所:クレオ大阪東(大阪市立男女共同参画センター東部館)

本日の説明会の内容

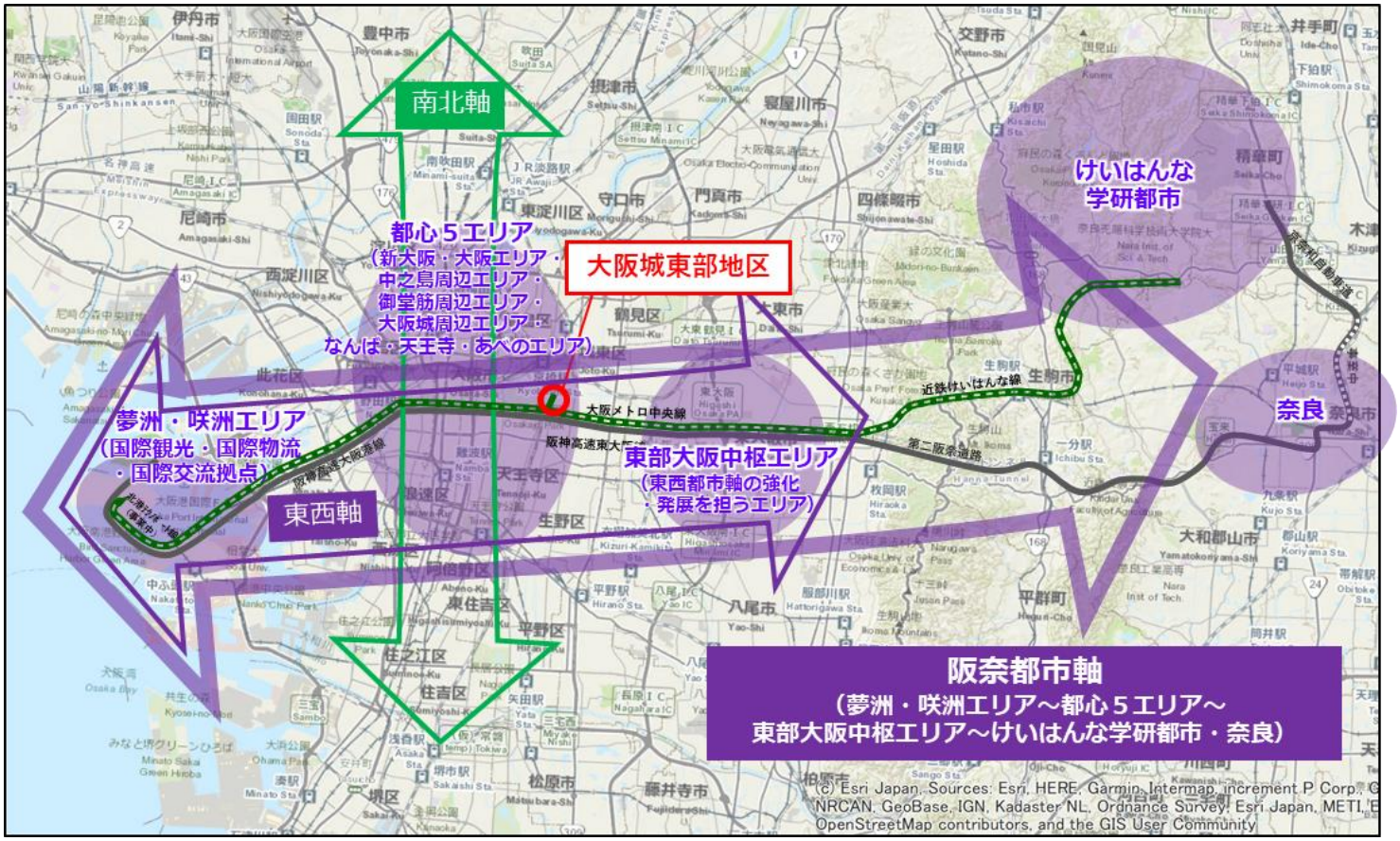
都市高速鉄道第４号線（中央線）の都市計画変更

大阪城東部地区のまちづくり

（1）地区の現況

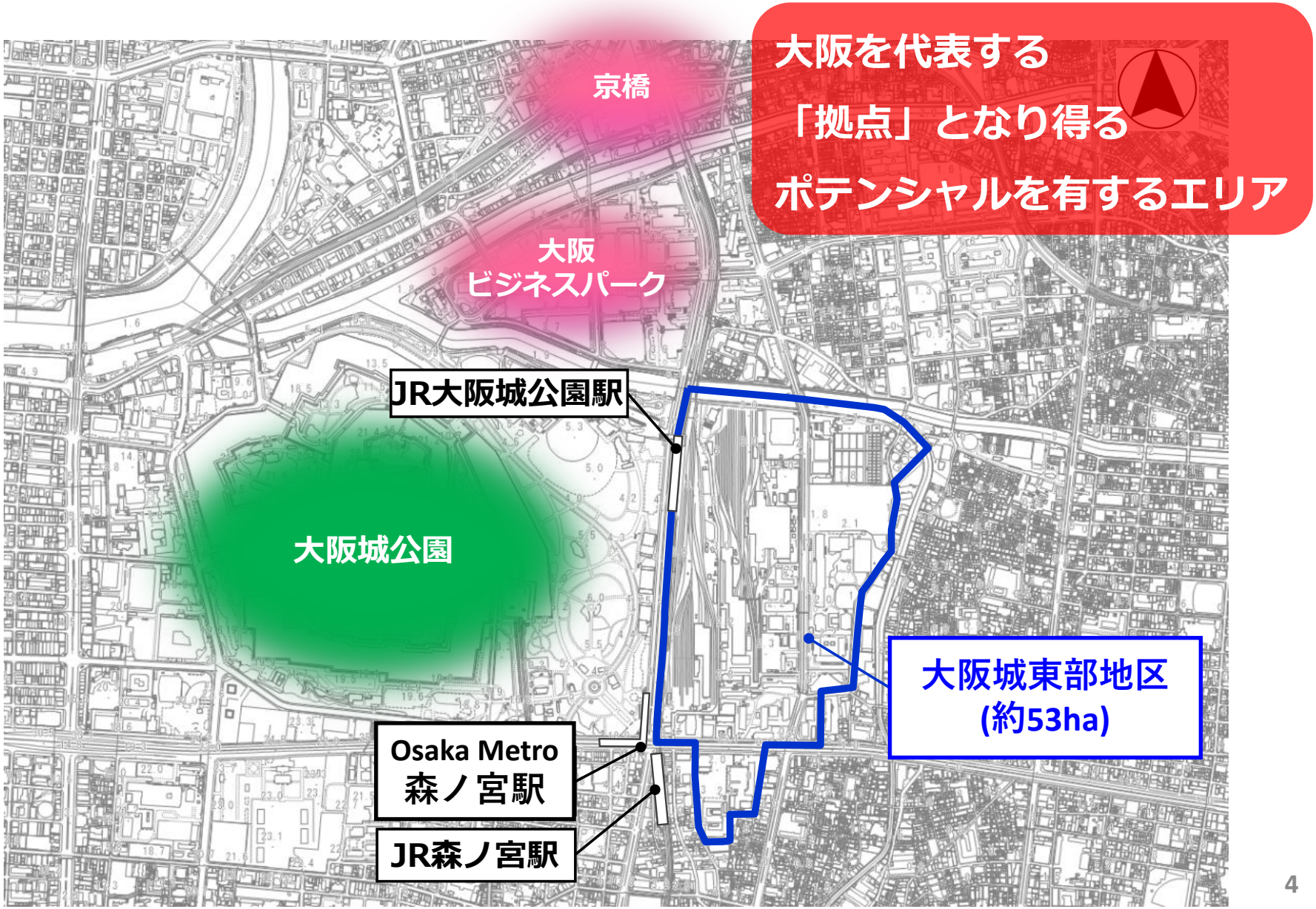
【地区の位置づけ】

- 「大阪のまちづくりグランドデザイン（2022年　大阪府・大阪市・堺市）」では、大阪城・周辺エリアとして、にぎわい創出や回遊性向上、大阪公立大学を先導役としたまちづくり等を推進し、観光・文化・学術・産業の融合エリアの形成をめざすとしている。
- 文化・観光・学術・交流機能の集積する、夢洲から関西学研都市に至る東西軸及び阪奈都市軸上に　位置する拠点として当地区の重要性が高まっている。
- 当地区での魅力あふれる都市空間の創造等により、大阪・関西の成長・発展につなげる。



（1）地区の現況

【地区のポテンシャル】



(1)地区の現況

【土地利用の現況】

(2)まちづくりの経過

2020年 1月　「新大学基本構想」策定

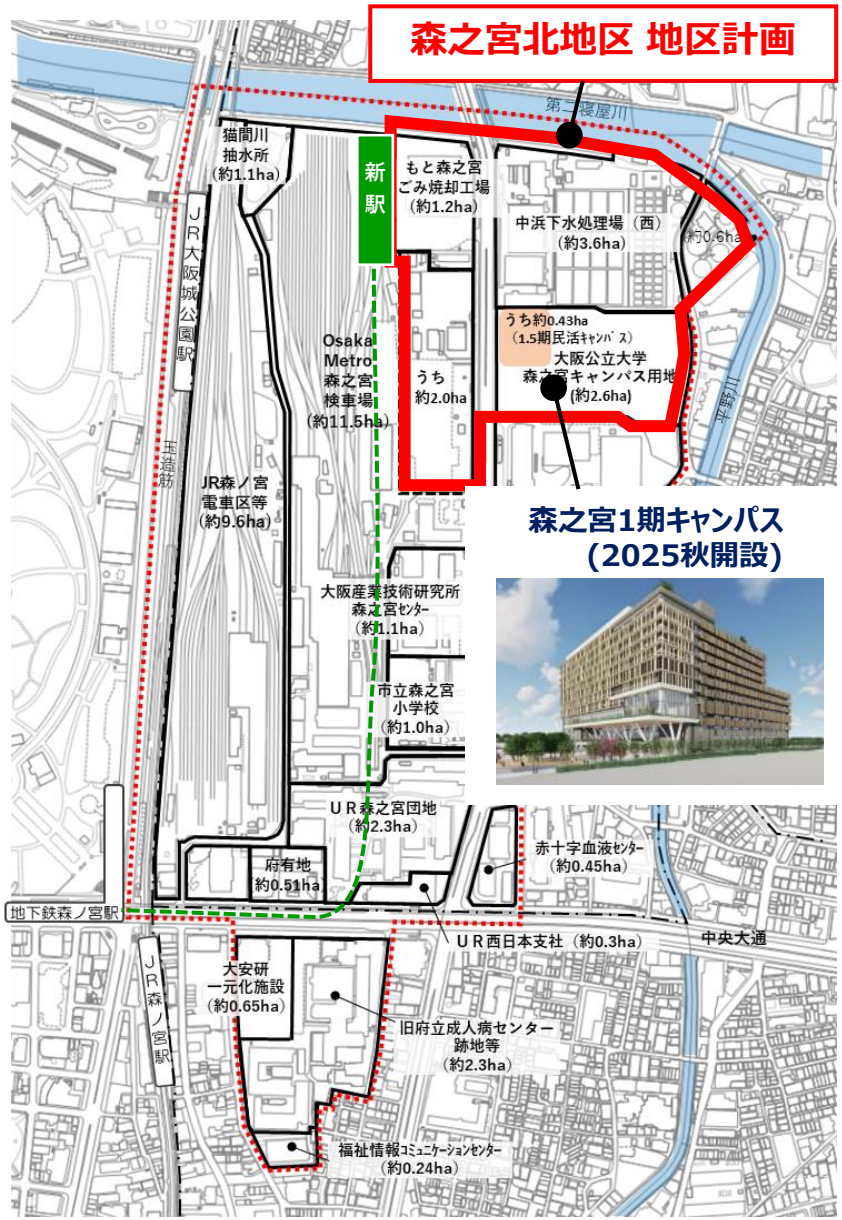
（森之宮に新大学の都心メインキャンパスを整備する方針を策定）

9月　「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」策定

2021年 9月　「森之宮北地区地区計画」決定

2022年 1月　【1期開発】
森之宮1期キャンパス工事着工
(2025年秋　開設予定)

2022年12月　「森之宮新駅構想について」公表



（3）大阪城東部地区のまちづくりの方向性（2020年9月）

【まちづくりコンセプト及び戦略】

コンセプト

大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ

新大学を先導役にして、観光集客･健康医療･人材育成･居住機能等の集積により、
多世代・多様な 人が集い、交流する国際色あるまち

コンセプトを具体化する戦略・シナリオ等

1．まちにひらかれ、まちとともに成長する「次世代型キャンパスシティ」
①まちにひらかれたキャンパスシティ
②まちとともに成長するキャンパスシティ

2．健康医療・環境等の既存資源を活かした「スマートシティの実証・実装フィールド」
①スマートエネルギー、スマートモビリティ等の実証・実装フィールド
②スマートエイジングシティの実証・実装フィールド

3．多様なひと、機能、空間、主体が交流する「クロスオーバーシティ」
①多様なひと ： 多様な世代、国籍、目的の人々（学生、住民、就業者、観光客）が集い交流するまち
②多様な機能 ： 職住遊学などの多様な機能が重層的に集積し、互いに相乗効果をもたらすまち
③多様な空間 ： 大阪城公園の緑や水辺空間と一体的に、公共的空間と民間空間が調和した、デザイン性のあるまち
④多様な主体 ： 産学官民の多様な主体が連携し、エリアマネジメントを展開するまち

（3）大阪城東部地区のまちづくりの方向性（2020年9月）

【土地利用計画】

❶『イノベーション・コアゾーン』

従来型の整備方式に加え、民間活力を導入した段階的な整備を想定。

- 1期としては、土地の高度利用を図りながら、まちに開かれた新大学の都心キャンパス（森之宮キャンパス）を整備する。
- 1.5期として、民間活力を導入し土地の高度利用を図りながら、大学施設関連機能を中心に、国際色ある業務・商業・宿泊・居住などの多様な交流・連携機能等を確保してイノベーションの誘発を図る。

❷『親水空間＋立体活用ゾーン』

イノベーション・コアゾーンと連担し、

- 河川との親水性や大阪城公園との一体性を図る。
- 鉄道施設・下水処理場等の上部利用等により、立体的な土地の高度利用を図る

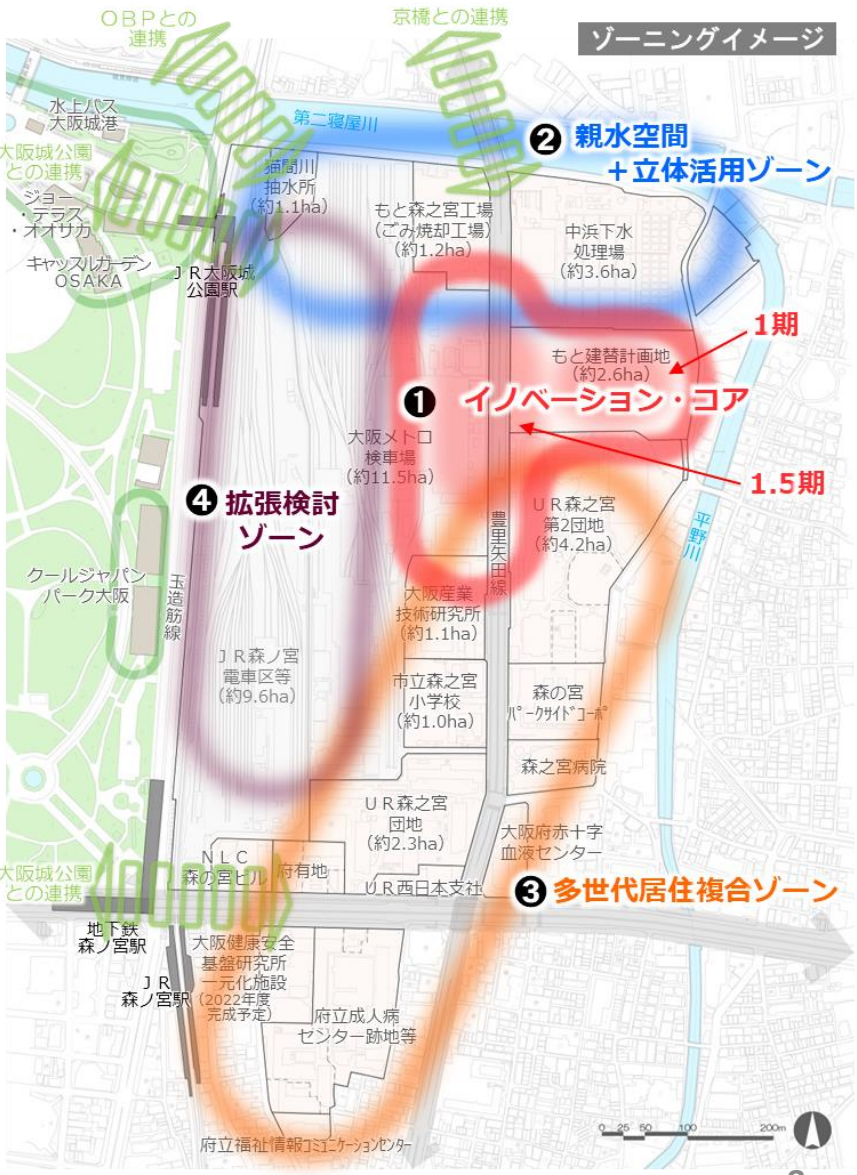
❸『多世代居住複合ゾーン』

イノベーション・コアゾーンと連担し、

- 複数立地する健康医療機能等と連携し、ｽﾏｰﾄｴｲｼﾞﾝｸﾞｼﾃｨの取組みを展開しながら、多様な世代※が健康で安心に住み続けられる、にぎわいにも寄与する商業・業務なども含めた住環境の実現を図る。
（※多様な世代：学生、子育て層、ファミリー層、高齢者 など）

❹『拡張検討ゾーン』

- 当面は鉄道施設として継続利用し、将来的には、社会動向や地区内のまちづくりの動向を踏まえ、上部利用範囲の拡大や土地利用転換等も検討する。



(4)1期開発(大阪公立大学森之宮1期キャンパス)

1期キャンパス(イメージ)

	1期	(参考)1.5期
配置 学部等	・全学基幹教育 ・文学研究科 ・リハビリテーション学研究科 ・生活科学研究科等	・情報学研究科 ・都市シンクタンク機能 ・技術インキュベーション機能
学生、教職員数	学生:約5,200人、教職員等:約800人	
整備時期	2025年秋	2028年春
敷地面積	約19,300m^2	約4300m^2
延床面積	約79,600m^2	大学施設約8,000m^2 ＋民間施設
備考	法人が整備	民間事業者による整備

※都市シンクタンク・技術インキュベーション機能は、1期にも一部機能を配置

都市高速鉄道第4号線（中央線）の
都市計画変更について

(1)(仮称)森之宮新駅設置に伴う鉄道整備

(1)整備目的

大阪城東部地区のまちづくりにあわせて、森之宮車庫及び工場にある線路を有効活用し、既存の森ノ宮駅から延伸して(仮称)森之宮新駅を設置することにより、周辺地域の交通利便性の向上とより一層の活性化を図る。

(2)整備内容

・新駅の設置

・森ノ宮駅～森之宮車庫及び工場の既設車庫線を改良し営業線化

(3)新駅位置

大阪市城東区森之宮一丁目

(森之宮車庫及び工場内)

(4)構造

地上駅・単線ホーム

(5)整備・営業主体

Osaka Metro

(6)開業時期

2028年春(目標)

(2)都市高速鉄道第4号線(中央線)都市計画変更案の概要

都市高速鉄道 第4号線(中央線)

・大阪港駅(起点)から長田駅(終点)を結ぶ路線(全延長:約15,990m)

・線路や主要施設(駅など)の位置、区域および構造を定めている。

➡ 大阪城東部地区への(仮称)森之宮新駅設置のため、都市計画に主要施設(駅)を追加するとともに、線路延長の変更や線路の構造を定める。

（2）都市高速鉄道第4号線（中央線）都市計画変更案の概要

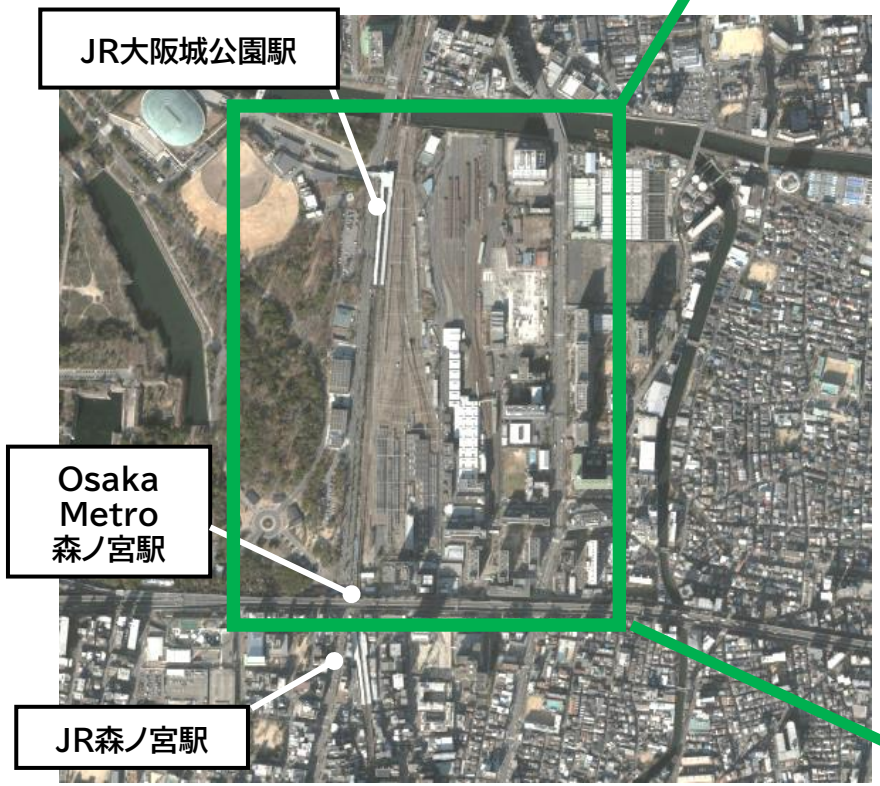
（1）線路部分

①森ノ宮駅～（仮称）森之宮新駅間の延伸
（延長 約1,120m、構造 地下式及び地表式）
→第4号線の延長が約15,990mから約17,110mに変更

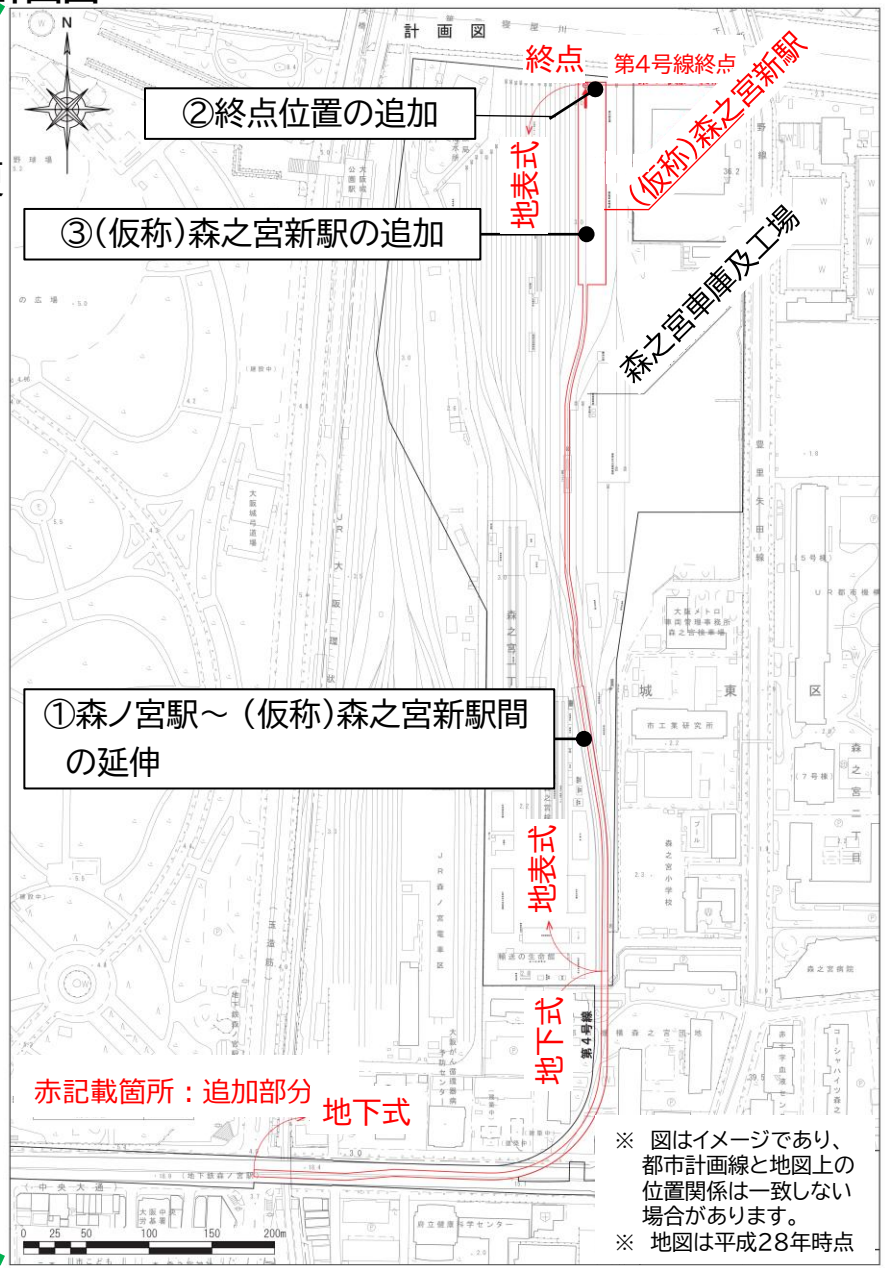
②終点位置　城東区森之宮一丁目を追加

（2）主要施設

③（仮称）森之宮新駅を追加
（面積約3,500m²）



計画図



※　図はイメージであり、都市計画線と地図上の位置関係は一致しない場合があります。
※　地図は平成28年時点

(3)今後のスケジュール

都市計画手続き

都市計画変更案に関する説明会
令和6年2月20日(火)19時から

大阪府都市計画公聴会
令和6年3月18日(月)14時から
エル・おおさか(大阪府立労働センター)

公述申出および傍聴希望の受付期間
令和6年2月22日(木)から
令和6年3月7日(木)まで

都市計画案の縦覧・意見書の提出
令和6年5月頃予定(2週間)

大阪府都市計画審議会(※)
令和6年8月頃予定

都市計画変更告示

※大阪府都市計画審議会に先立ち、大阪市都市計画審議会において意見聴取を実施する予定

Osaka Metro 鉄道整備事業

許認可手続き
2024～2025年度

設計・工事等
2025～2027年度

開業
2028年春(目標)

※土地の状況や工事の調整などによりスケジュールが前後する可能性があります。

都市計画変更に関する公聴会

〇公述申出期間

・令和6年2月22日(木)～令和6年3月7日(木)まで （必着）

〇申出方法

・公述申出書の設置場所

大阪府　大阪都市計画局　計画調整課　窓口・ホームページ
（大阪市住之江区南港北1丁目14－16　咲洲庁舎 33階）
大阪市　計画調整局　計画部　都市計画課　窓口
（大阪市北区中之島1丁目3－20　大阪市役所7階）

・申出方法

大阪府　大阪都市計画局　計画調整課　へ　郵送又は持参

〇公聴会の開催日

と　き　：　令和6年3月18日(月) 14時から
ところ　：　エル・おおさか(大阪府立労働センター)
（大阪市中央区北浜東3－14）

傍聴　：　公述申出期間内に、住所、氏名及び電話番号を記載した
はがき 又は 電子メールにより申込み(先着10名)

※公聴会は公述(意見を述べて)いただくものであり、説明会ではありません。

お問い合わせ先

お問い合せ内容	お問い合せ先	電話番号
都市計画変更の手続きについて	大阪都市計画局　計画推進室 計画調整課　都市施設計画グループ	06－6210－9079
新駅整備事業について	大阪市高速電気軌道株式会社 交通事業本部　交通計画部 交通計画課	06－6585－6646
大阪城東部地区のまちづくりについて	大阪都市計画局 拠点開発室 広域拠点開発課　中エリアグループ	06－6210－9080

今後のまちづくり
（1.5期開発について）

(1)土地利用の方針

新駅・駅前空間

○ **新駅**の設置、上部空間を高度利用した**駅ビル**における商業機能等の複合的な駅ビルを整備
駅ビル屋上には空飛ぶクルマの離発着場の整備を検討

○ **鉄道、バスなど様々な交通を有機的に結ぶ交通結節点となる交通広場**
・公共交通を中心としたロータリーの整備
・新たなモビリティの導入、検討
　オンデマンドバス
　パーソナルモビリティ
　自動運転バスの検討　　など
・将来の新たなモビリティの導入に対応できるスペースの確保

○ **にぎわい・憩いの創出に資する人中心の広場**
・交流機能・サービス機能等を備えた広場等の整備
・災害時の防災活動拠点にも資する広場等の整備

大規模集客・交流空間

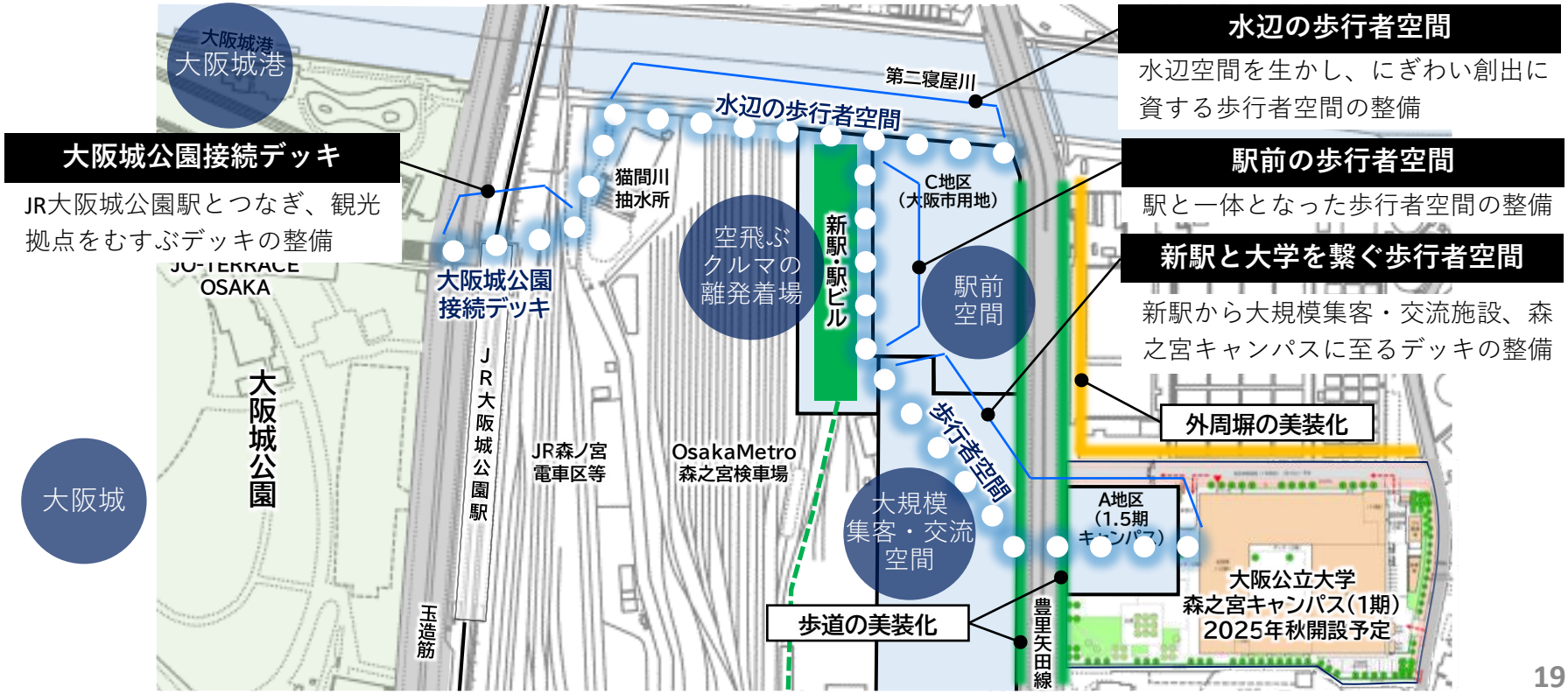
○大阪公立大学を中心とした学術交流・ビジネス交流促進や、市民の交流にも寄与する、１万人以上の**アリーナ・ホール等を中心とした複合開発により、集客・交流空間を形成**

1.5期キャンパス「知の拠点」

○ **民間活力導入による**キャンパス整備
・情報学研究科
・都市シンクタンク機能
・インキュベーション機能
○ 民間提案による施設整備

（2）基盤整備の方針（歩行者空間）

- 大学キャンパスから大規模集客・交流施設、新駅・駅ビル・水辺の歩行者空間、大阪城公園駅をつなぐ、利便性・快適性・安全性に優れ、バリアフリー化された歩行者空間のネットワーク化をめざす。
- 広域的な観光振興の観点から、大阪城公園（大阪城、大阪城港等）と開発地区（空飛ぶクルマの離発着場（VP）や大規模集客・交流施設等）の観光拠点をむすび、にぎわいの創出や回遊性を高める。
- 民間開発にあわせた歩行者空間の整備や確保、水辺の歩行者空間の整備とともに、公民が協働したデッキなどの整備により連続した動線の整備を進める。



(3)想定スケジュール

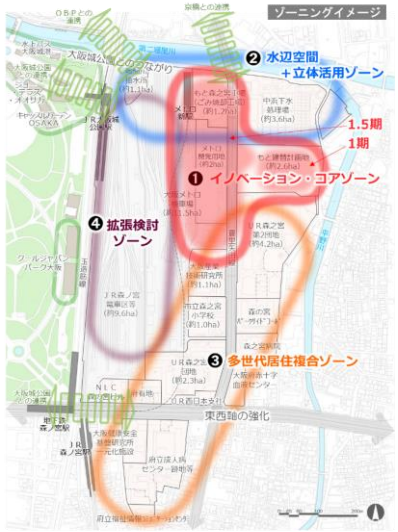
- 2023年度内の新駅に係る都市計画手続きの着手や、2024年度の事業者公募など、必要な手続きを進め、1.5期開発の2028年春からのまちびらきをめざす。

1.5期開発の想定スケジュール

年　度	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)
新　駅	都市計画等手続	許認可・設計・工事等				まちびらき
駅ビル	事業計画策定等		都市計画手続、許認可・設計・工事等			
森之宮キャンパス(1.5期) 大規模集客･交流施設等		事業者公募等	▼大学１期キャンパス開設			
歩行者空間 （大阪城公園接続デッキ、 民間開発地内の通路など）		設計・工事等				

※土地の状況や工事の調整などによりスケジュールが前後する可能性があります。

参考）地区全体の想定スケジュール（「第４回大阪城東部地区まちづくり検討会（R4.12.26）」資料より）



１期開発（～2025秋）

❶ イノベーション･コアの整備

1期 都心キャンパスの整備
- 設計、建設工事、開設

1.5期の施設整備
- 民活ｷｬﾝﾊﾟｽ、B地区、C地区の設計、建設工事、完成

1.5期開発（～2028春）

新駅整備
- 設計、建設工事、開業

❷ 水辺空間＋立体活用ゾーンの整備

２期・３期開発
※ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ･ｺｱ等が先行立地する優位性を背景に高度利用や機能更新を図る

❸ 多世代居住複合ゾーンの整備

❹ 拡張検討ゾーンの整備
（東西動線含む）